

※情報解禁 2021年10月15日(金)14:00 予定※

## MR(複合現実)プラットフォーム”Auris(オーリス)”を開発するGATARI東京都が行う「行政課題解決型スタートアップ支援事業」の「新商品等の生産・提供により新たな事業分野の開拓を図る者」に認定 ～ピッチイベント「UPGRADE with TOKYO」第11回で優勝し、2021年10月から2024年3月まで 随意契約をもとに行政課題の解決に資する最先端技術サービスを提供～

Mixed Reality (ミックスリアリティ: 複合現実、以下「MR」) スタートアップの株式会社 GATARI (ガタリ、本社: 東京都千代田区、代表取締役 CEO: 竹下俊一、以下「GATARI」) は、この度東京都より「行政課題解決型スタートアップ支援事業」における「新商品等の生産・提供により新たな事業分野の開拓を図る者」に認定されたことをお知らせいたします。

2021年2月に東京都が主催したピッチイベント「UPGRADE with TOKYO」第11回(募集テーマ: 通信技術・デジタル機器を活用した都立文化施設のアクセシビリティ向上)で GATARI が優勝したことをきっかけに本認定に至りました。認定期間中、東京都の機関が競争入札によらずに GATARI の開発する MR プラットフォーム” Auris(オーリス)”を購入・使用することができますようになります。2021年10月から2024年3月までが認定期間で、都と連携して事業を検討してまいります。



2016年に創業した GATARI は、リアル空間とデジタル空間がシームレスに融合し(ミックスされ)、リアルなモノとバーチャルな情報とを等価に表示・操作することができる Mixed Reality※1 社会の実現に取り組むスタートアップです。視覚を拡張する AR グラスの開発・普及に先駆け、すでに世間に浸透しつつある 6 軸センサー搭載のウェアラブルデバイスや空間オーディオ技術の発展、さらにデジタルツインを構築し ARcloud 技術※2 を活用することで聴覚から MR を実現させるべく『Auris(オーリス)』という空間プラットフォームを開発・提供しています。「今までにないエンターテインメントから未来のインフラを創る」をミッションに掲げ、これまでに神奈川県や東北楽天ゴールデンイーグルスとウィズコロナにおける観光エンタメイベントを企画したほか、東京メトロ・鹿島建設・乃村工芸社とともに空間ビジネスの DX や施設アクセシビリティの向上に取り組んでまいりました。

2021年2月には東京都が主催したピッチイベント「UPGRADE with TOKYO」第11回(募集テーマ: 通信技術・デジタル機器を活用した都立文化施設のアクセシビリティ向上)に代表・竹下が参加し、「既存の設備に一切干渉せずに空間の文化価値を高めるデジタル世界の構築」のプロポーザルで優勝しました。そして、この度「行政課題解決型スタートアップ支援事業」における「新商品等の生産・提供により新たな事業分野の開拓を図る者」に認定されました。本認定により、2021年10月から2024年3月までの間、東京の機関は競争入札によらずに GATARI の開発する MR プラットフォーム” Auris(オーリス)”を購入・使用することができますようになります。

Auris は空間のスキャンから空間編集(トリガーとアクションの配置)、クラウドへの保存、マルチプレイヤーでの復元・体験までをスマートフォンのアプリケーション上でワンストップで実現可能なアプリケーションです(iOS11以降、iPhone6s以降に対応)。スマートフォンのカメラで捉えた現実の風景と、該当する空間のデジタルツイン※3 とを照合して位置測位を行うため、Auris が編集対象とする場合は屋内外を問わず、さらに物理的な施工を行う必要なく、文化財なども傷付けずに、既存設備を生かした状態で空間の体験価値を向上させることが可能です。従来より都内施設(美術館・博物館・図書館・市民ホール・体育館等)におけるインクルーシブ性の向上やメンテナンスのコスト削減に期待も寄せられ、フィジカルとデジタルの双方の良さを活かした持続可能な施設運営とインフラ整備を推進します。

今後、東京都と GATARI は、約1400万人が暮らす都市、東京から世界に先駆けて MR 社会を実現するべく、連携を強化してまいります。

※1 Mixed Reality (MR、複合現実): リアル空間とデジタル空間がシームレスに融合し(ミックスされ)、リアルなモノとバーチャルな情報を等価に表示・操作することができる状態のこと

※2 ARcloud: 現実空間のスキャンデータを活用し、様々なデジタルデータを現実空間上に保存・共有することを可能にする技術

※3 デジタルツイン: 物理世界を同スケールでデジタル空間に再現した 3D データ

### 関連記事はこちら

2021年2月26日実施「UPGRADE with TOKYO」  
第11回(募集テーマ: 通信技術・デジタル機器を活用した都立文化施設のアクセシビリティ向上)開催レポート  
UPGRADE with TOKYO 公式 note  
[https://note.com/upgrade\\_tokyo/n/n0c6b3a490960](https://note.com/upgrade_tokyo/n/n0c6b3a490960)

## 株式会社 GATARI



GATARI は新しいエンターテインメントを切り口に、Society5.0 を見据えた未来のインフラづくりを目指す Mixed Reality スタートアップです。「人とインターネットの融け合う世界を創る」というビジョンを掲げ、東京大学を拠点とした日本最大の VR 学生団体 UT-virtual ( <https://utvirtual.tech/> ) 創設者である代表の竹下によって 2016 年に設立されました。これまで、ゲームエンジンを活用しリアルとデジタルを融合させることで生まれる様々な空間サービスの開拓や研究開発を行ってきました。現在、Mixed Reality エンジニアリングと音響の専門家が在籍するチームがそれぞれの専門領域を活かし、既存フォーマットの 100+1 の体験ではない未来の音声体験を生み出し続けています。

本 社：東京都千代田区神田松永町 16 ダイキビル 4F

代表者：代表取締役 CEO 竹下俊一

設立日：2016 年 4 月 5 日

資本金：6010 万円

事業内容：Mixed Reality プラットフォーム『Auris』の開発、MR コンテンツ制作ほか

GATARI 公式 HP：<https://gatari.co.jp/>

## Auris について



『Auris』は空間のスキャンから空間編集（トリガーとアクションの配置）、クラウドへの保存、マルチプレイヤーでの復元・体験までをスマートフォンのアプリケーション上でワンストップで実現可能な世界初の Mixed Reality プラットフォームです（iOS アプリケーション / iOS11 以降、iPhone6s 以降に対応）。

スキャンした施設のデジタルツインとカメラで取得した現実の風景を照合して位置測定を行うため、屋内外を問わず、環境にビーコンやセンサーの設置などを行う必要がなく、文化財なども傷付けずに、既存設備を生かした状態で空間の体験価値を向上させることができます。また、カメラからユーザーの位置情報を三次元的に高精度で取得することで、自身の視線の向きや「椅子に座る」など自然な体の動作に合わせて音響演出が変わるといった細やかなインタラクティブ性を実現し、現実にながらまるでゲームや映画の主人公になったような没入型の一人称音楽体験を届けます。

多様なユーザーの一人ひとりに合わせて内容や言語をパーソナルに提供することで、施設のアクセシビリティ向上に寄与し、空間を回遊する中で偶発的・受動的に情報が得られる、という探索型の体験を提供いたします。既存施設では鹿島建設と協働した HANEDA INNOVATION CITY の「HICity AR」アプリに採用されており、ほかにも神奈川県・東京都・乃村工藝社・東北楽天ゴールデンイーグルスとの協業に取り組んでいます。

『Auris』公式 HP：<https://auris-ar.com/>

photo: jun osato / model: shu aoya

### お問い合わせ先

株式会社 GATARI (担当: 富山・磯野)

[フォーム] [https://share.hsforms.com/1M\\_IQE8HORJiJ2QOkkhSGjAbwv75](https://share.hsforms.com/1M_IQE8HORJiJ2QOkkhSGjAbwv75)

[メール] [contact@gatari.co.jp](mailto:contact@gatari.co.jp)